

連合大阪 2007 年度賃金調査の概要

1. 全産業の概要

集計したデータは14,196人(06年は12,355人)です。

今年度、組合の産業・規模構成は次のとおりです。

産業	30人未満	30-99人	100-299人	300人以上	計
製造業	3	3	5	10	21
交通・運輸業	0	1	9	3	13
商業・サービス業	11	6	0	4	21
計	14	10	14	17	55

※データ数については4ページ「回答者の構成」をご覧ください。

概要は次のとおりです。

全産業	人数	平均年齢	平均勤続	平均賃金	06年平均
男女計	14,196	38.6	14.4	282,666	286,824
男	12,614	38.8	14.6	287,911	292,640
女	1,582	36.8	12.8	240,842	239,842

構成は、男性が88.9%、女性が11.1%で、昨年とコンマ以下の違いしかありません。男女計と男性の平均賃金は前年を下回りましたが、平均年齢・勤続とも若干“若く”なっている程度でほとんど変わりありません。女性の平均賃金はわずかですが前年を上回っています。

2. 産業別の概要

	人数	平均年齢	同勤続	平均賃金	06年平均
製造業・男女計	12,173	38.2	14.3	283,964	288,656
同 男	10,792	38.4	14.5	289,366	294,956
同 女	1,381	37.0	12.9	241,748	239,331
交通・運輸業	1,233	40.7	13.5	244,220	256,278
同 男	1,171	41.1	13.7	246,787	258,789
同 女	62	34.5	8.1	195,731	221,622
商業・サービス業	790	40.9	17.6	322,670	327,201
同 男	651	41.9	18.3	337,767	337,014
同 女	139	36.3	13.8	251,965	272,618

構成比は、製造業が85.7%、交通・運輸業が8.7%、商業・サービス業が5.6%となっています。産業別には、年齢・勤続が若干“若く”なっている製造業の男性の平均賃金は前年を下回っています。女性の平均賃金はわずかながら上昇しています。平均年齢はあまり変わりありませんが、平均勤続年数が短くなっている交通・運輸業の平均賃金は男女とも前年を下回っています。商業・サービス業の男性の平均賃金は上昇していますが、年齢・勤続の短くなっている女性の平均賃金は前年を下回っています。

3. 規模別の概要

規模別にみると次のとおりです。

	人数	平均年齢	同勤続	平均賃金	06年平均
30人未満・男女計	161	44.0	18.5	321,554	289,227
同 男	130	44.7	19.5	339,244	297,302
同 女	31	41.1	14.3	247,369	235,541
30-99人	383	39.3	16.2	282,827	287,721
同 男	347	39.1	16.3	285,887	292,975
同 女	36	41.5	14.7	253,328	240,552
100-299人	1,354	39.3	13.5	251,052	284,085
同 男	1,214	39.9	14.0	255,023	288,800
同 女	140	34.0	9.6	216,620	242,508
300人以上	12,298	38.4	14.4	285,632	294,797
同 男	10,923	38.6	14.6	291,020	305,640
同 女	1,375	36.9	13.0	242,835	233,753

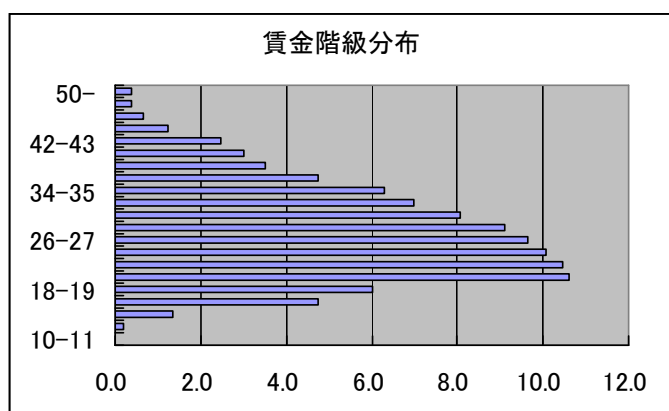
データ件数の構成比は、30人未満が1.1%、30-99人が2.7%、100-299人が9.5%、300人以上が86.7%となっています。ただし、前記のように連合体1組合9,446人を300人以上に含めています。規模別に06年の平均賃金を掲げておきますが、データの内容が全く異なっているので前年との規模別の時系列比較について云々することはできません。

4. 全産業・男女計の集計と分析

(1) 年齢別平均賃金等

全産業・男女計の年齢別賃金階級分布表が5ページにあります。表の右端には賃金の階級幅を1万円としたときの階級ごとの人数（度数）が算出してあります。これを見ると、最も多い（最頻値：モード）のは23万円台（昨年は26万円台）で774人です。度数を下から累積していくと、20万円未満（19万円台まで）は1,755人、12.4%（昨年は11.7%）です。男性の11.3%（昨年10.2%）、女性の20.8%（昨年23.7%）が20万円未満ですが、全体の平均賃金は282,666円ですが、賃金分布のちょうど真ん中の値（中位数：メデイアン）は273.1千円（06年は275.8千円）で低くなっています。試みに四分位分散を計算してみると0.1997で前年の0.1972とあまり変わりません。

次のグラフは賃金階級幅を2万円として再集計し、その分布を割合（％）で示したものです。男女計、縦軸の単位は万円、横軸の単位は％です。



賃金の階級幅を2万円刻みにしてみると、最も多いのは20-21万円、10.6％です。

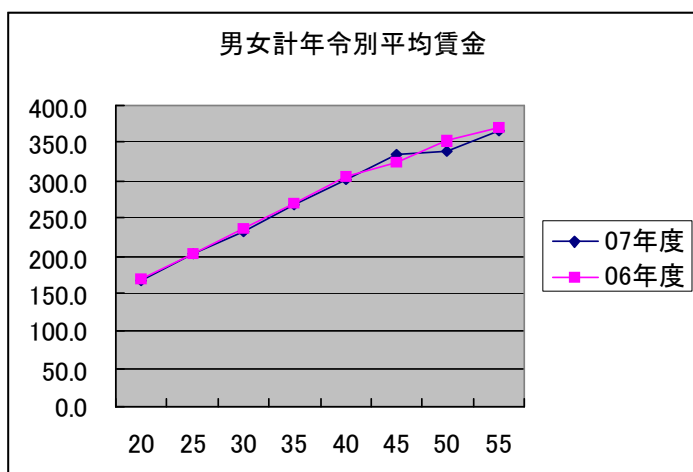
表には年齢区間20-40歳の全データをとって、年齢を説明変数として賃金について1次回帰したときの回帰式の「傾き」、すなわち年齢1歳当たりの平均上昇額が6,757円となることが示してあります(06年度は6,698円)。

(2) 年齢別賃金特性値

まず、全産業・男女計の年齢別平均賃金を年齢ポイントで観察すると次のとおりです。

年齢	男女計		男		女	
	07年度	06年	07年度	06年	07年度	06年
20	168.3	169.7	168.6	170.4	164.5	164.8
25	202.3	202.4	203.3	204.2	196.6	191.6
30	233.1	236.8	234.9	240.4	218.2	213.5
35	269.2	271.1	273.9	274.3	242.4	240.6
40	300.6	306.0	305.1	309.8	267.5	265.4
45	335.8	325.1	338.8	328.2	290.0	278.3
50	338.6	354.0	344.8	358.2	293.2	293.2
55	365.5	371.9	374.7	378.2	264.9	310.3
全年齢	282.7	286.8	287.9	292.6	240.8	239.8
「傾き」	6,757	6,698	6,992	6,850	4,771	4,923

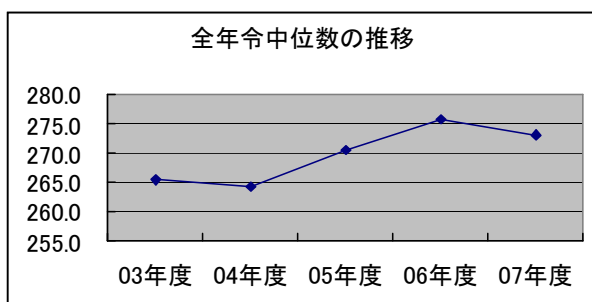
年齢ポイント別の平均賃金は、男女計では20歳から40歳までは若干ですが前年を下回っています。45歳ポイントの平均賃金だけが前年を上回っています。男性の場合も同様です。女性の場合は25歳ポイントから45歳までは前年を上回っています。



年齢ポイント別中位数をみると次のとおりです。全産業・男女計です。

年齢	07年度	06年	07年-06年
20	167.8	169.0	-1.2
25	203.0	200.8	2.2
30	232.8	233.4	-0.6
35	268.3	266.1	2.2
40	299.7	305.2	-5.5
45	339.9	329.4	10.5
50	341.1	358.7	-17.6
55	366.0	374.3	-8.3
全年齢	273.1	275.8	-2.7

中位数でみると、25歳と35歳、45歳では前年の水準を越えています。他の年齢ポイントでは前年の水準を下回っています。全年齢中位数の暦年の変化を次にグラフにしてあります。



第1十分位は次のようになっています。

年齢	07年度	06年
20	158.7	159.0
25	177.0	179.5
30	194.4	200.3
35	215.8	220.1
40	232.4	237.1
45	257.9	245.9

50	248.5	275.5
55	264.9	282.6
全年齢	192.9	195.4
年齢係数	3.8667	3.8516
定数	79.14	82.83
決定係数	0.9827	0.9629

第1十分位は、今年度45歳を除く全ての年齢ポイントで前年水準を下回っています。下段の係数は年齢区間20-40歳で行った1次回帰の結果を示したものです。年齢ごとの賃金特性値をグラフにして賃金の分布構造を視覚的に示したものが7ページです。箱の範囲内に80%の人が入り、網のかかっている部分には50%の人が属していることとなります。この賃金特性値の中位数と第1十分位、第1四分位を抽出してそれを回帰した結果が8ページです。

(3) 年齢勤続年数別平均賃金表 — 9ページ

全データを年齢1歳、勤続1年ごとに区分してその平均賃金を算出してあります。いわば実態賃金傾向値表です。後に男女別にも作成してあります。この表の勤続0年の欄は07年の中途入社者を含む採用賃金の傾向を示しているといえます。いま18歳（ほぼ高卒初任給とみなすことができる）以上の勤続0年の一部を抜き出してみます。

年齢	男女計		男		女	
	07年度	06年	07年度	06年	07年度	06年
18	162	162	163	163	160	155
20	169	180	168	181	177	177
22	193	193	195	196	186	174

※ただし、22歳は必ずしも大卒とは限りません。「高卒標準労働者」等については別に詳しい集計があります。

10ページは、9ページの表に対応する人員表です。この勤続0年の欄をみると18歳と22歳から24-25歳にかけて、さらに35歳前後まで06年に匹敵する新規採用が行われているようです。

(4) 年齢階層勤続年数階層別平均賃金表

上記のデータを賃金センサスと同じ区分にして再集計した年齢階層勤続年数別平均賃金表から年齢階層別平均賃金をみると次のとおりです。全勤続です。

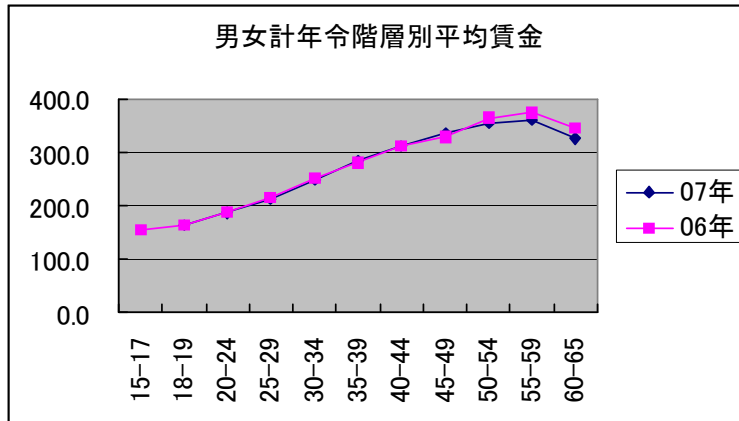
年齢階層	男女計		男		女		女/男%
	07年	06年	07年	06年	07年	06年	
15-17	0.0	154.2		154.2			
18-19	163.7	163.3	164.0	164.4	159.1	154.4	97.0
20-24	187.6	187.2	188.4	188.7	183.2	178.5	97.2
25-29	214.4	216.1	215.7	218.4	206.3	202.8	95.6
30-34	248.0	250.8	261.4	254.8	225.7	227.1	86.3
35-39	283.1	281.7	287.3	285.3	250.6	249.6	87.2
40-44	313.2	312.7	318.2	316.9	268.8	268.0	84.5
45-49	335.7	330.4	340.8	334.3	275.6	282.4	80.9
50-54	353.7	364.5	358.0	370.1	295.4	298.3	82.5
55-59	361.2	375.5	368.3	382.5	284.7	297.7	77.3

60-65 324.7 345.5 335.4 350.6 229.8 140.8 68.5

年齢階層別男女計では25-29歳と30-34歳でその平均賃金が前年を下回っており、50-54歳から上の年齢でも前年を下回っています。男性の場合は18-19歳から29歳まで前年以下となっており、30-34歳から45-49歳層は前年を上回っています。しかし、50歳以上では昨年水準に達していません。

女性の場合は、29歳までの若い年齢層の平均賃金は前年を上回っていますが、30-34歳と45歳以上の年齢層では、60-65歳を別にして前年以下となっています。右端には男女の賃金格差を示してあります。

次のグラフは、年齢階層別平均賃金の前年との比較です。



年齢階層別平均賃金も年齢ポイント別平均賃金と同じような傾向です。ただし、この調査は組合員のみですから、管理職を含む全従業員を対象（パートタイマーを除く）とするセンサス等の公式統計と比較する場合には注意が必要です。中高年以上では本調査の平均賃金はセンサスなどと比べると低目になることがあります。

(5) 「高卒標準労働者」等

12 ページには、「高卒標準労働者」、勤続0年の年齢別賃金、35歳実在者の勤続年数別平均賃金が表にしてあります。原データには学歴区分はありませんが、年齢マイナス勤続が18の者を「高卒標準」と見なしています。ここでは、「高卒標準労働者」だけを見ておくことにします。ただし、データには扶養家族等の条件はありませんから「標準」とはいつでもいわゆるモデルではないことに注意してください。

「高卒標準労働者」

年齢	男女計		同 男		同 女	
	07年度	06年	07年度	06年	07年度	06年
18	162,456	162,192	162,665	163,452	159,947	155,171
20	171,125	169,297	172,269	170,331	161,483	162,446
25	194,862	200,129	195,589	195,867	188,200	177,691
30	229,215	233,432	230,203	235,903	217,358	217,091
35	269,248	271,808	273,777	273,945	249,482	241,882
40	304,129	298,960	308,642	300,603	263,517	263,293
45	338,884	349,379	342,653	349,379	303,085	---
50	360,657	366,011	365,850	367,153	293,150	324,910
55	387,564	394,507	391,535	398,505	300,210	308,554

5. 産業別集計

ここでは、男女計の年齢ポイント別平均賃金のみを見ておきます。

年齢	製造業		交通・運輸業		商業・サービス業	
	07年度	06年	07年度	06年	07年度	06年
20	168.4	168.9	162.1	169.8	168.3	272.6
25	204.2	202.7	171.8	188.6	216.3	221.9
30	234.0	237.1	203.8	219.0	248.5	268.2
35	273.5	272.9	222.4	249.7	274.1	289.0
40	304.8	310.4	238.8	253.4	338.7	319.9
45	336.7	332.7	276.9	266.1	381.0	350.1
50	342.0	358.5	298.8	290.0	360.3	398.7
55	365.1	377.0	330.2	329.7	422.7	389.5
全年齢	284.0	288.7	244.2	256.3	322.7	327.2
「傾き」	6,986	6,902	4,085	4,429	7,878	8,014

製造業は、下段の全年齢の平均賃金が前年を下回っていることが示しているように、年齢ポイント別にみても平均賃金が前年を下回っているポイントが多くなっています。上回っているのは25歳、35歳、45歳です。交通・運輸業は今年度、昨年はなかった道路貨物運送関係組合が入っています。商業・サービス業は35歳以下の年齢の若い方では前年を下回っています。なお06年の20歳のデータは1件だけです。

6. 規模別集計

規模別（男女計）の年齢ポイント別平均賃金は次のとおりです。

年齢	30人未満		30-99人	
	07年度	06年	07年度	06年
20	--	167.9	161.8	172.4
25	243.6	206.1	192.1	201.0
30	280.9	237.9	238.3	235.9
35	266.3	265.7	257.2	268.0
40	300.1	283.1	303.4	297.6
45	355.1	321.2	319.1	327.3
50	383.3	357.5	337.5	346.9
55	385.1	359.3	433.1	361.8
全年齢	321.6	289.2	282.8	287.7
「傾き」	6,556	6,208	7,769	6,540

年齢	100-299人		300人以上	
	07年度	06年	07年度	06年
20	167.7	168.0	168.4	172.7
25	175.8	200.7	205.1	209.7
30	216.2	235.0	234.3	244.8
35	232.1	272.0	274.4	275.5
40	257.1	310.7	306.1	307.3
45	294.7	315.3	340.9	359.5

50	313.6	352.7	339.3	379.3
55	341.4	377.2	365.6	380.0
全年齢	251.1	284.1	285.6	294.8
「傾き」	4,829	6,771	6,954	6,853

規模 30 人未満はとくに男性の平均年齢・勤続が上がっていることにも見られるように、年齢の高い方で前年を上回っています。30-99 人は昨 06 年 3,000 人以上のデータでしたが、今年度の平均賃金は昨年を下回っている年齢ポイントが多くなっています。100-299 人も昨年は 6,600 人を越える数のデータでしたが、今年度の平均賃金は全ての年齢ポイントで昨年以下となっています。規模 300 人以上は昨年 1600 人あまりのデータでしたが、今年度は前記のような事情で 12,000 人を超え、小規模組合が数多く含まれていると考えられます。それを反映してか、全ての年齢ポイント平均賃金が前年を下回るものとなっています。